

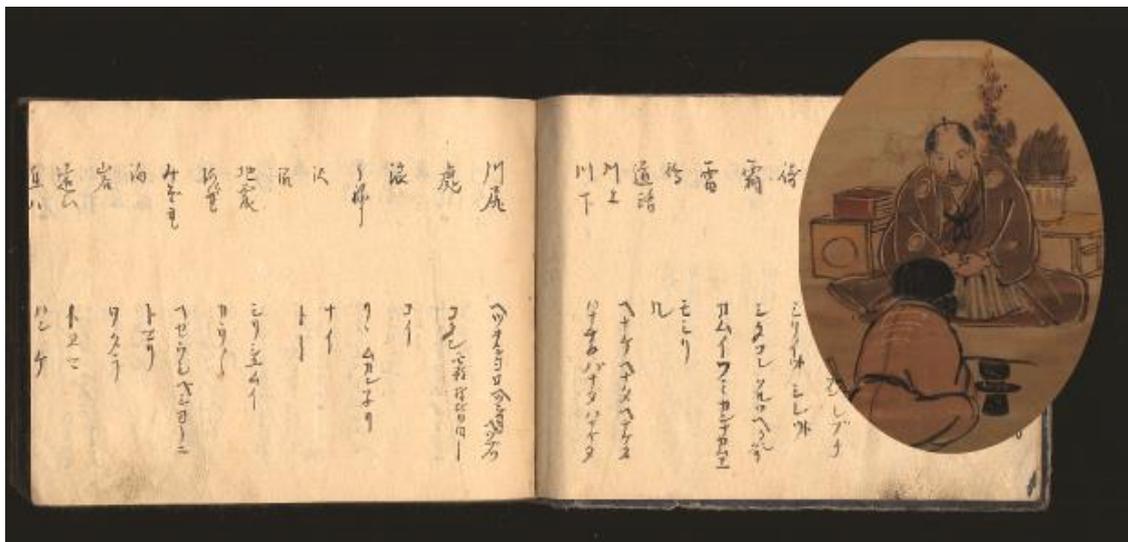
来年4月白老町に開館！

「国立アイヌ民族博物館PR展」のお知らせ

- 期間 令和元年10月7日（月）～27日（日）
- 場所 郷土資料館第2展示室
- その他 PR展のみの見学は無料です。

「国立アイヌ民族博物館PR展」関連講座

(加賀家文書歴史講座)のお知らせ！



- 日時 令和元年10月20日（日）午後1時30分～3時
- 場所 郷土資料館第2展示室
- 内容「アイヌ語と日本語—加賀伝蔵がみた道東地方のアイヌ語の世界」
講師 国立アイヌ民族博物館設立準備室 研究員 深澤 美香 氏
- 申込方法 電話にて氏名・電話番号を10月18日（金）までにご連絡ください。

出前移動展

「松浦武四郎が見た根室管内と北方領土の様子」のお知らせ！

- 日 時 令和元年10月1日（火）～31日（木）
- 場 所 野付半島ネイチャーセンター2階

国立アイヌ民族博物館に展示予定の当館所蔵資料

来年4月に白老町に開館する国立アイヌ民族博物館は、北海道では初めてつくられる最北の国立博物館です。伝統的なアイヌ文化の一方的な展示にとどまらず、現代に息づく多様なアイヌ文化とそれに関わる人々を様々な視点から紹介するようです。

アイヌの世界、ことば、歴史、仕事、暮らし、交流の6つのテーマに沿った展示により、国内外にアイヌの歴史・文化等に関する正しい認識と理解を促進するようです。

当館で所蔵する資料の展示は、歴史のテーマで近世のアイヌの人々の様子が描かれた絵図資料になります。「加賀家文書等資料」のもので、下記の資料になります。



「蝦夷土人りどん

男 一所に寝ると申事 とらのまころと、幾たび××とおのれ 耳でもつぶれたか
メノコ いやでならぬよ鬘付 くさい、もとのアイノに なれや寝る」(解説文)

蝦夷地(北海道)は、慶長9年(1604)松前藩成立し、その後、幕府直轄→松前藩復領→幕府直轄となり、国防上の問題もあり、アイヌの和風化政策を進めます。絵は、夫婦の就寝の様子です。夫は、鬘を結い和風化したので、奥さんは「鬘付けくさい」ので、「もとのアイヌになれば寝る」と和風化した夫を嫌っています。こうした背景には政治政策やアイヌ自身の仕事にも大きな影響があり、アイヌの歴史を知る一端となっています。

別海町郷土資料館だより No.243

発行日 令和元年10月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 釧路管内厚岸町海事記念館所蔵の板綴船も国立アイヌ民族博物館に展示されます。厚岸湾ではアイヌ文化期の船が3艘見つかっており、先日実物を見てきましたが保存状態も良くすばらしい資料でした。中世・近世の時代、その前の時代からダイナミックに活動していた人々の姿を想像することが出来ます。(K.I)